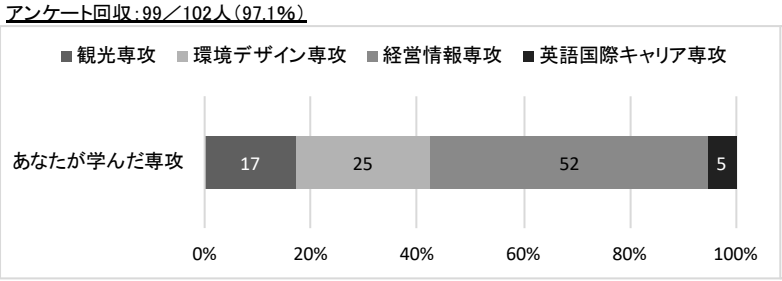
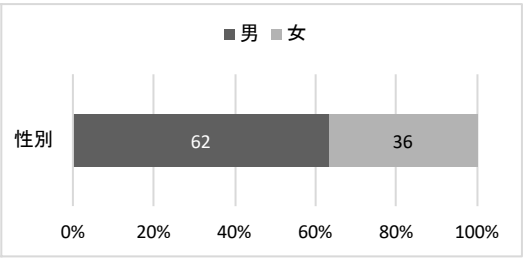
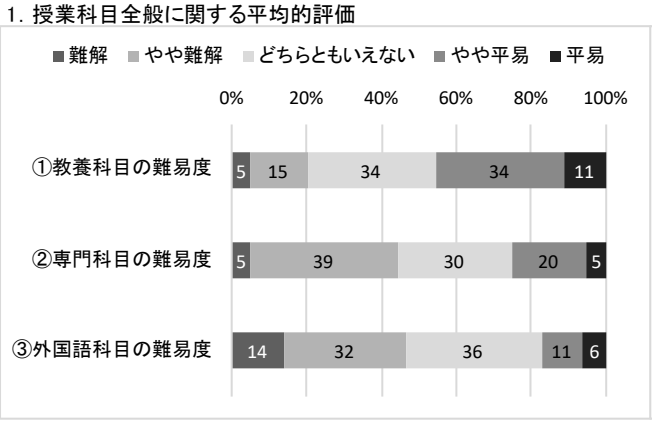
令和6(2024)年度　富山国際大学　現代社会学部　卒業時アンケート

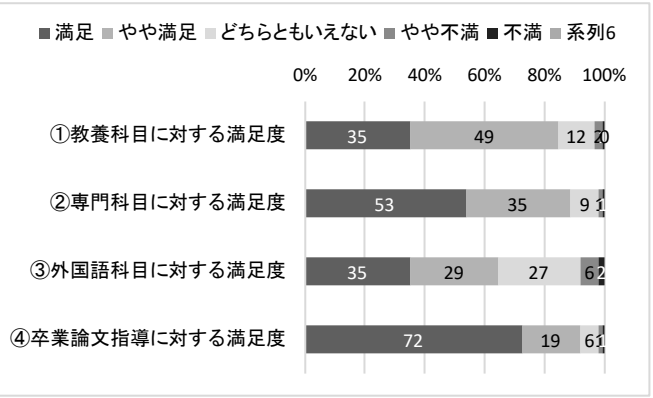
実施日：各専攻卒論発表時
アンケート回収：99／102人（97.1%）



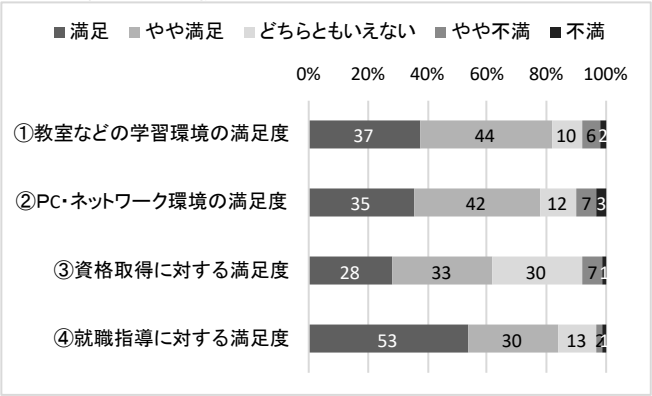


1. 授業科目全般に関する平均的評価



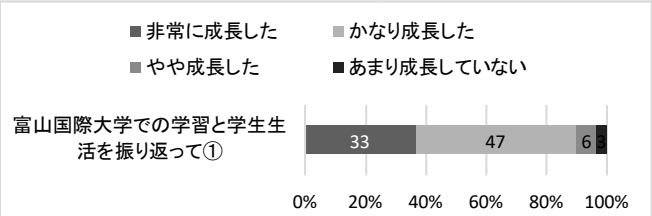


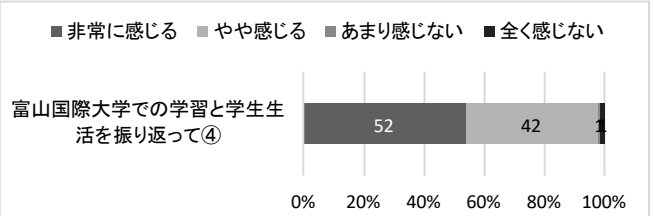
2. 学習環境・就職支援について

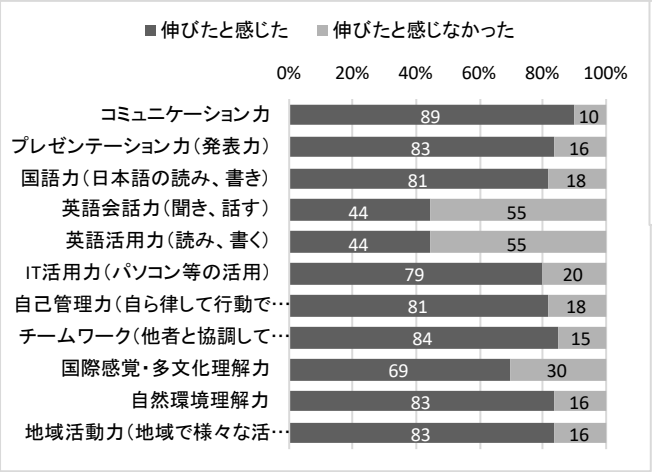


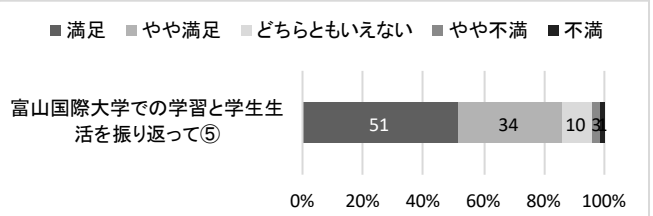
自由記述は次ページ

3. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って

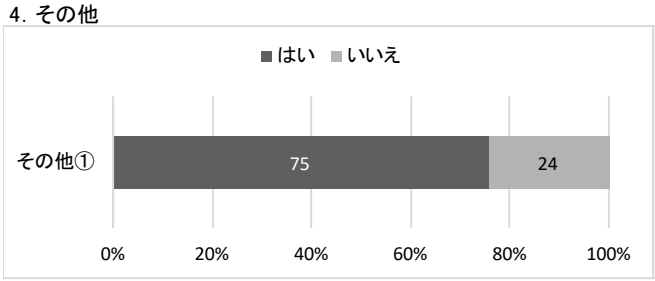


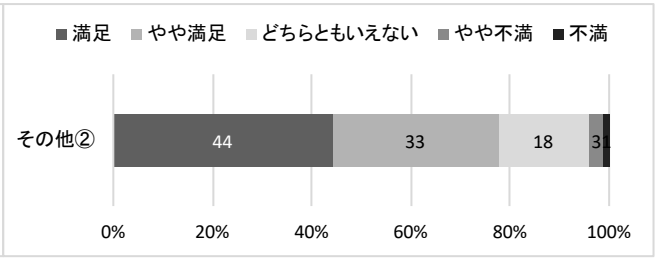




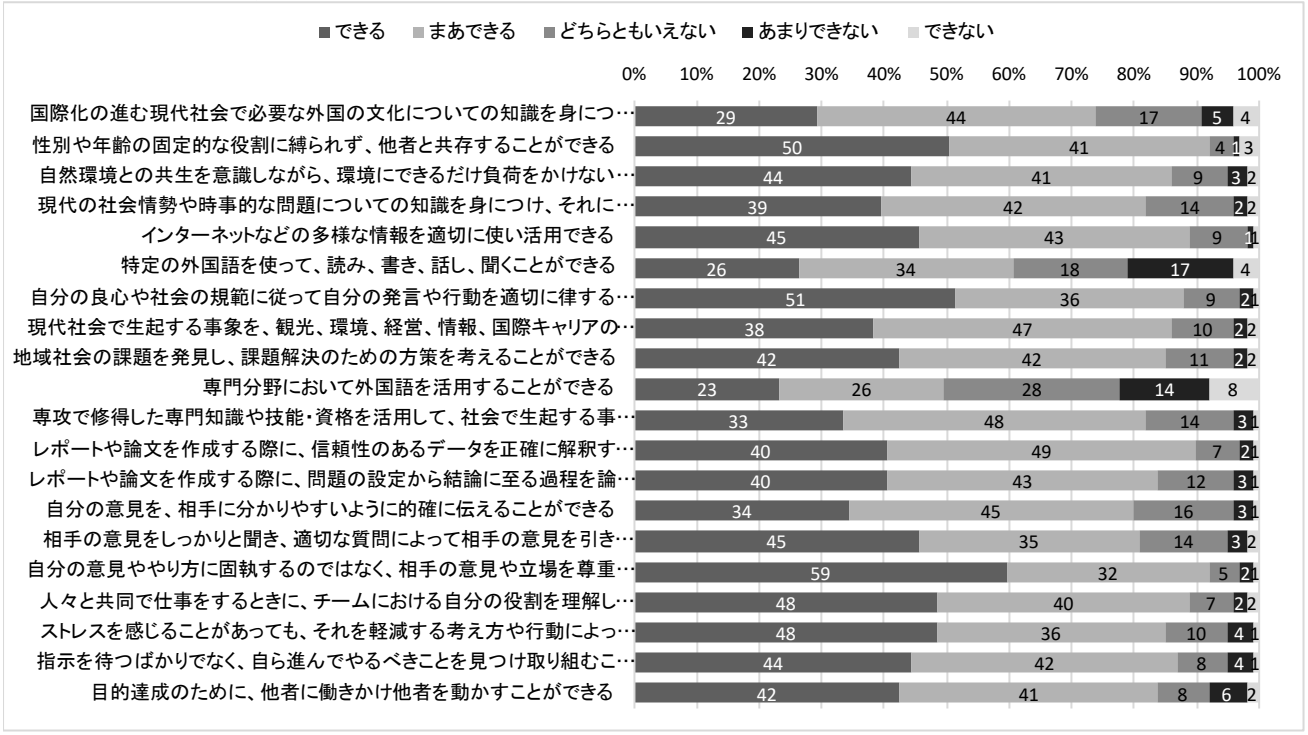


4. その他





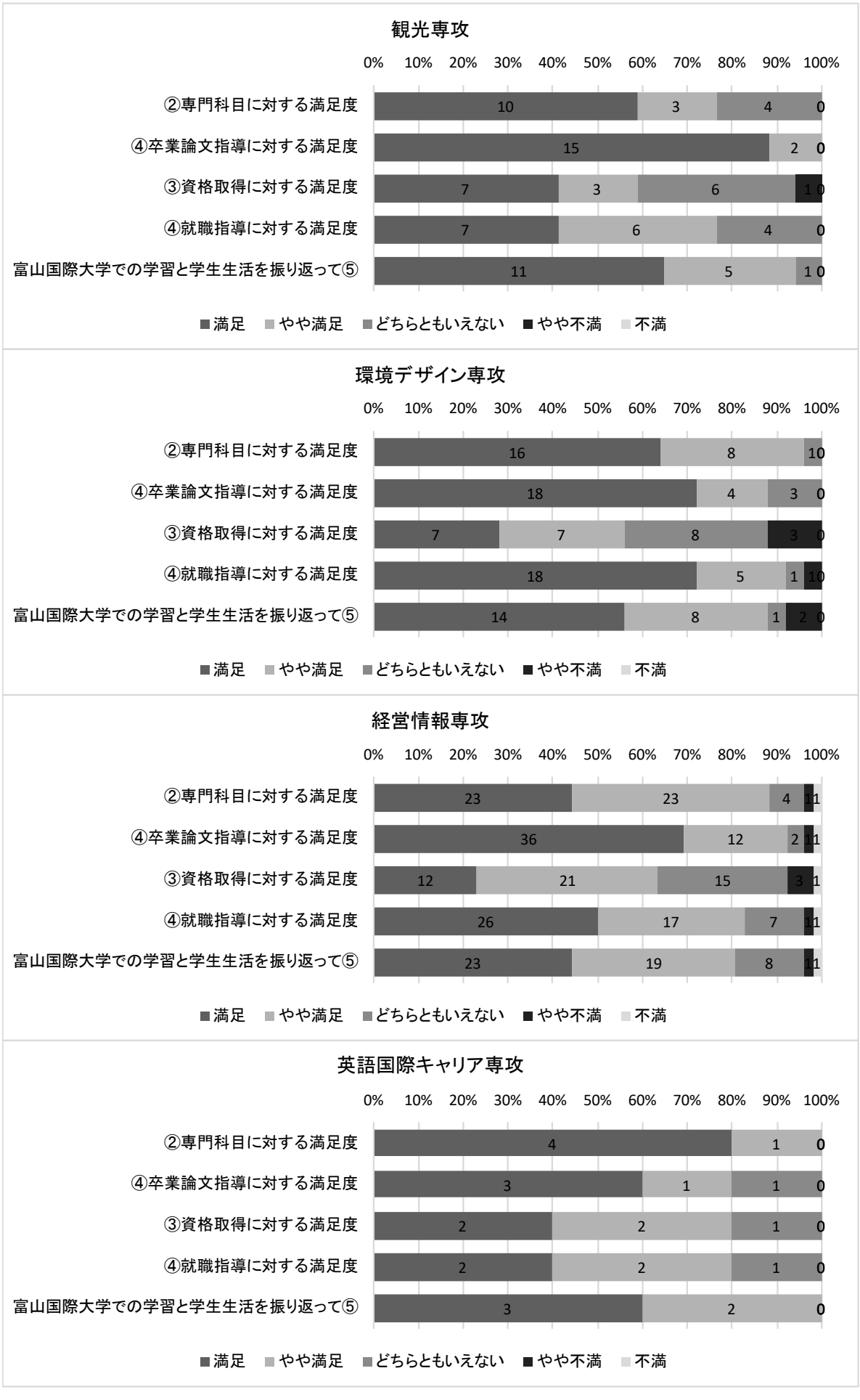
5. ディプロマポリシー達成度



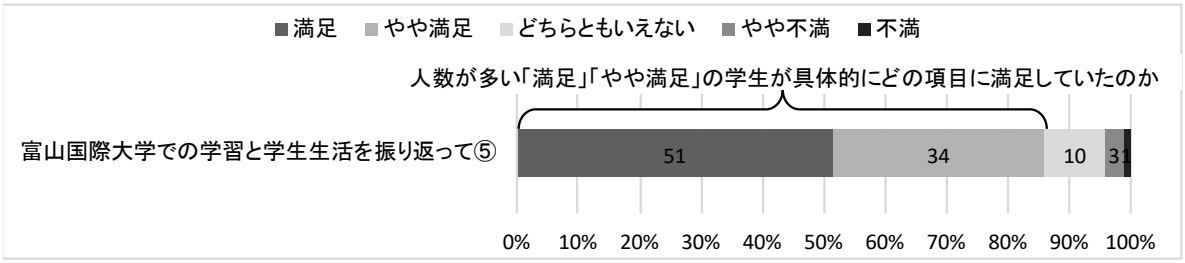
コメント：英語、外国語に関する評価の低さが目立つ（1の「外国語に対する満足度」、3の「英語活用力」、5の「あまりできない」の多さ）。この理由として、外国語に関する質問は他の質問に比べ具体的で自己評価がしやすいため、厳しめの回答が出やすかった可能性がある。つまり、他の質問が曖昧で主観的な評価しかできないため、その回答の正確性には疑問が残る。学生の学修成果は、授業科目の成績で評価すべきものである。それら客観的評価と、卒業アンケートの主観的評価の比較により類似度や乖離を調べるならば、このアンケートは意味を持つだろう。

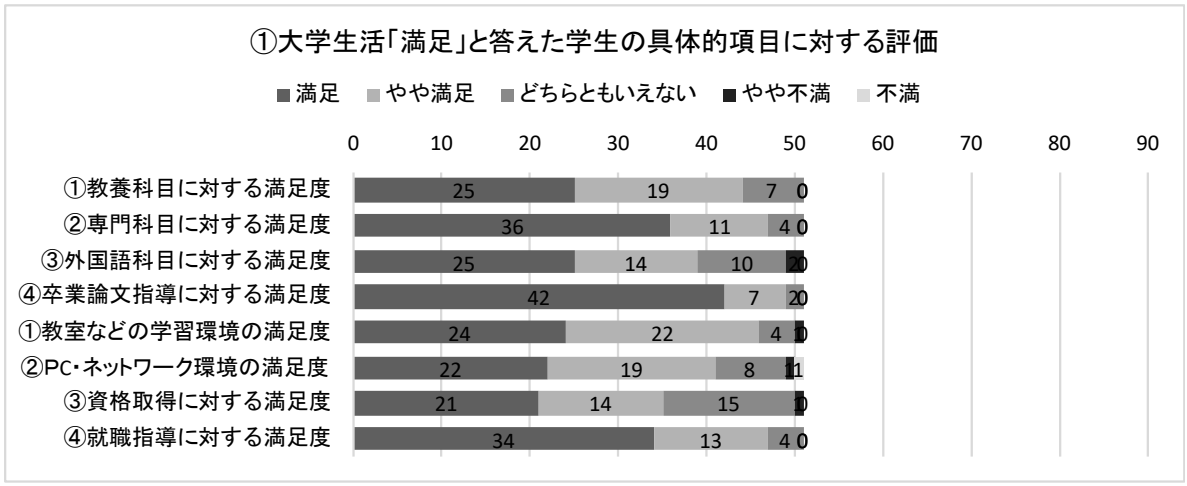
自由記述に関して、1人の意見を過大評価せず、大学として対応すべきと思われる項目には即座に対応するのが良いだろう（「良い点」としての就職支援や図書館環境のレベル維持、「悪い点」としてのWiFiおよび室温の不十分な地点の洗い出しと対策）

クロス集計①　専攻と関係する項目

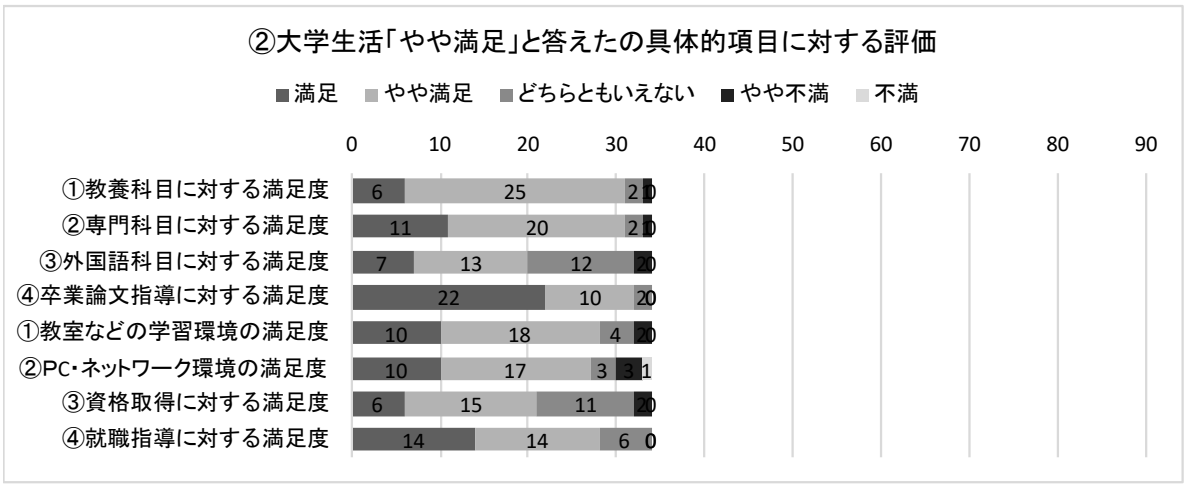


クロス集計②　大学生活満足度と関係する項目

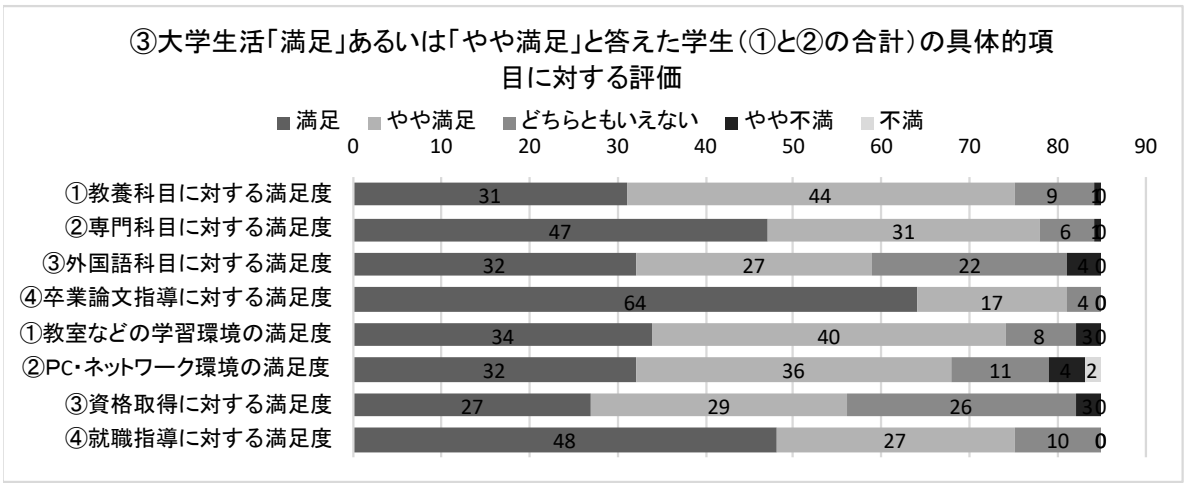




コメント:「満足」と答えた学生は、特に「専門科目」「卒業論文指導」「就職指導」への満足度が高い。

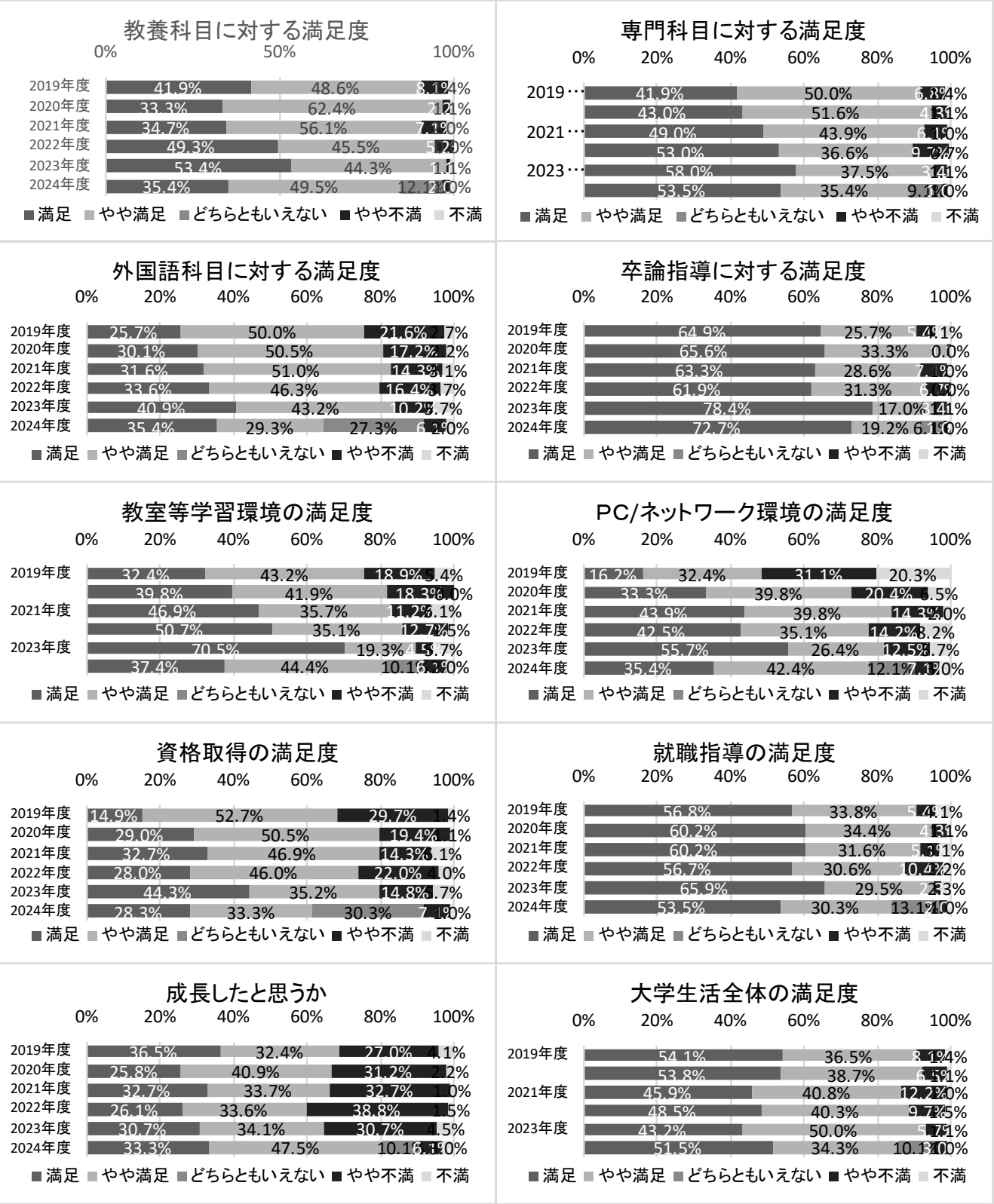


コメント:「やや満足」と答えた学生は、「卒業論文指導」への満足度が高い。



コメント:「満足」あるいは「やや満足」と答えた学生（85名／99名）は、「専門科目」「卒業論文指導」「就職指導」に対する満足度が高い。卒業直前まで取り組み、無事卒業できたことにより、これらの満足度が高くなるのではな

年度間比較



コメント:「どちらともいえない」という選択肢を設けたことの影響か、「やや不満」以下の表かが減っている。一方で「満足」と答えた学生の割合が大きく減っている質問もある（教室等学習環境、PCネットワーク環境）。

令和６(2024)年度 卒業時アンケート項目等（現代社会学部）

目　　的：卒業時に本学での学生生活を振り返ってもらい、本学の教育活動に対する満足度や在学中の学びを通じた知識・能力の修得状況、また本学に期待・要望することなど幅広い意見を徴収し、その結果を教育の改善や質向上に向けた学内での議論に活用していくための基礎資料とする。

回答方法：Microsoft にログインし、各設問に対して該当する番号を選択、記述式に関しては記入欄に回答。

実施期間：卒業論文発表会終了後（2 月上旬頃）に実施

１．性別：　男性　　女性　　未回答

２．専攻：　観光専攻　　環境デザイン専攻　　経営情報専攻　　英語国際キャリア専攻

３．授業科目全般に関する平均的評価(1)　（科目の難易度）

①教養科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
②専門科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
③外国語科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易

４．授業科目全般に関する平均的評価(2)　（科目に対する満足度）

①教養科目に対する満足度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
②専門科目に対する満足度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
③外国語科目に対する満足度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
④卒業論文指導に対する満足度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易

５．学習環境・就職支援について

①教室などの学習環境の満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
②PC・ネットワーク環境の満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
③資格取得に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
④就職指導に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満

６．学習環境・就職支援について（記述式①）

環境・設備面で気に入っているところを記入してください。

７．学習環境・就職支援について（記述式②）

環境・設備面で気に入らないところを記入してください。

８．富山国際大学での学習と学生生活を振り返って①

入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか

非常に成長した　かなり成長した　どちらともいえない　やや成長した　あまり成長していない

９．富山国際大学での学習と学生生活を振り返って②

下記のどのような力が伸びたと感じていますか。伸びたと感じたもの、伸びたと感じなかったものにチェックしてください。

・コミュニケーション力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・プレゼンテーション力（発表力）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・国語力（日本語の読み、書き）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語会話力（聞く、話す）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語活用力（読み、書く）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・IT 活用力（パソコン等の活用）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・自己管理力（自ら律して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・チームワーク（他者と協調して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・国際感覚・多文化理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・自然環境理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・地域活動力（地域で様々な活動する）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった

10．富山国際大学での学習と学生生活を振り返って③

その他、自分が伸びたと感じている点を書いてください。

11．富山国際大学での学習と学生生活を振り返って④

大学で学んだことが社会に出て役立つと考えていますか。

非常に感じる　　やや感じる　　どちらともいえない　　あまり感じない　　全く感じない

12．富山国際大学での学習と学生生活を振り返って⑤

大学での生活全体を振り返って、満足していますか

満足　　やや満足　　どちらともいえない　　やや不満　　不満

13．その他①

あなたは後輩や親戚にこの大学で学ぶことを薦めたいですか　　はい　　いいえ

14．その他②

ＩＣカード付学生証を使用してどうでしたか

満足　　やや満足　　どちらともいえない　　やや不満　　不満

15．その他③

この大学に今後期待すること

16. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします①

A　人間性の向上

（回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない）

・国際化の進む現代社会で必要な外国の文化についての知識を身に着け、他国の人と共存することができる
・性別や年齢の固定的な役割に縛られず、他者と共存することができる
・自然環境との共生を意識しながら、環境にできるだけ負荷をかけない行動をとることができる
・現代の社会情勢や時事的な問題についての知識を身につけ、それに関する自分の考えを述べることができる
・インターネットなどの多様な情報を適切に使い活用できる
・特定の外国語を使って、読み、書き、話し、聞くことができる
・自分の良心や社会の規範に従って自分の発言や行動を適切に律することができる

17. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします②

B　専門性の向上

（回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない）

・現代社会で生起する事象を、観光、環境、経営、情報、国際キャリアの分野から幅広く考察することができる
・地域社会の課題を発見し、課題解決のための方策を考えることができる
・専門分野において外国語を活用することができる
・専攻で修得した専門知識や技能・資格を活用して、社会で生起する事象を深く理解することができる
・レポートや論文を作成する際に、信頼性のあるデータを正確に解釈することができる
・レポートや論文を作成する際に、問題の設定から結論に至る過程を論理的に表現することができる

18. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします③

C　社会性の向上

（回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない）

・自分の意見を、相手にわかりやすいように的確に伝えることができる
・相手の意見をしっかりと聞き、適切な質問によって相手の意見を引き出すことができる
・自分の意見ややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重することができる
・人々と共同で仕事をするときに、チームにおける自分の役割を理解し行動することができる
・ストレスを感じることがあっても、それを軽減する考えや行動によって、ストレスを適切に処理することができる
・指示を待つばかりでなく、自ら進んでやるべきことを見つけ取り組むことができる
・目的達成のために、他者に働きかけ他者を動かすことができる

ご協力ありがとうございました。